

札幌市温暖化対策推進ビジョンにおける取組の進行管理について

札幌市温暖化対策推進ビジョンでは、2020年度の中期目標に向けてわたしたちが取り組むべき行動を「10のアクション」として示しています。

この「10のアクション」が目標に向けてどのくらい進んでいるのかを管理するため、それぞれのアクションにおいて成果指標を設定し、中期目標に向けた進捗状況を示したものが以下の表になります。

焼却ごみの大幅な減量が図られ、すでに目標を達成しているごみ減量などの取組もありますが、多くのアクションについては、今後もより一層の取組を進めていく必要があります。

	達成度	50%	100%
1. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開 新築戸建住宅の札幌版次世代住宅基準適合率	(札幌版次世代住宅基準について検討)		
2. 高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開 高効率給湯機器導入数	5.4%		
3. 次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開 次世代自動車普及台数	9.7%		
4. エコライフの定着・拡大に向けた展開 エコライフ実践率	(今後、アンケート等により調査を実施)		
5. 事業活動によるCO ₂ 削減に向けた展開 年平均1%以上のCO ₂ 削減目標策定事業者の割合	(今後、対象事業者の届出により算出)		
6. 太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開 太陽光発電設備導入量	2.7%		
7. 木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開 熱供給事業における木質バイオ燃料消費量	28.8%		
8. 再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開 天然ガスコージェネレーション事業者導入量	6.1%		
9. ごみ減量・リサイクルの定着・拡大に向けた展開 焼却ごみ量			109.0%
10. 地域のみどりの育成に向けた展開 市内の森林備蓄量			104.6%

短期的な指標による進行管理について

以下の表は2020年度の中期目標を見据え、札幌市として行う取組に対してもう少し短い指標(第3次新まちづくり計画の達成目標)を設定したものです。この短期的な指標を設定することにより、対策の進行状況に応じて、その後の取組の方向性を検討していくことができます。

今後は、第3次新まちづくり計画の進行管理と併せて、本事業による取組の進捗状況を把握していきます。

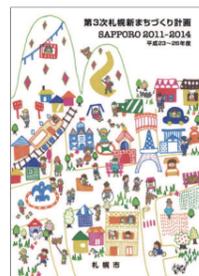
アクション番号	第3次新まちづくり事業	達成目標	現状値(2010年度)	短期目標(2014年度)
1	札幌版次世代住宅基準に適合した住宅への補助制度	一般向け補助件数	-	279件
	エコリフォーム促進事業	一般向け補助件数	43件	150件
		賃貸向け補助件数	-	30件
2	札幌・エネルギーecoプロジェクト	新エネ・省エネ機器導入補助件数	2,351件	10,000件
	次世代自動車導入促進事業	次世代自動車の補助件数(累計)	-	900台
3	エコドライブ活動定着推進事業	エコドライブ啓発者数	-	2,900人
		エコ診断を行った世帯数(累計)	-	310世帯
4	さっぽろエコライフ推進事業	節電モニターの削減目標達成率	-	80%
		サポート事業による事業者の省エネ実施件数	-	30件
5	札幌省エネアクションプログラム	モデル施設へのエネルギー削減支援数	-	12施設
		札幌サンサンプロジェクト	市有施設の太陽光パネル設置箇所数	62カ所
7	木質バイオ燃料普及促進事業	補助制度利用件数	15件	95件
		熱供給事業等における年間使用量	1,400t	10,000t*
8	再生可能エネルギー推進事業	雪冷熱導入施設数	3施設	4施設
		家庭の生ごみ減量・リサイクル推進事業	生ごみ堆肥化の継続率	80%
10	みどり豊かな街づくり支援事業	新たな助成制度の創設	-	創設
		さっぽろふるさと森づくり事業	事業による植樹面積	-

*市内における未利用材の消費量

■10のアクション
札幌市温暖化対策推進ビジョンでは、中期目標を達成するために札幌市として重点的に取り組む10の項目について、2020年に目指す姿と、市民・事業者・札幌市それぞれが取るべき行動(=アクション)を示しています。

■達成度について
2020年における成果指標の目標を100%として、現時点(2010年度)の状況を示したものです。具体的な数値については、進行管理報告書(本書)をご覧ください。
<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/vision/>

■第3次新まちづくり計画
札幌市の新たな施政方針「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」で掲げられた基本的な方向や、市長マニフェストで示された事項の実現を図るため、長期総合計画の基本的方向性を踏まえながら、計画期間内に重点的・優先的に実施すべき施策・事業を定めた新たな中期実施計画です。



平成23年度 札幌市温暖化対策推進ビジョン

進行管理報告書

概要版

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 TEL 011-211-2877 FAX 011-218-5108
札幌市環境局環境都市推進部 <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/vision/>



札幌市温暖化対策推進ビジョンについて

二酸化炭素(CO₂)をはじめとした温室効果ガスによって、地球全体の気温が上昇する地球温暖化問題は、喫緊の課題として世界中で対策が行われています。

「環境首都」を宣言した札幌市として、率先して対策に取り組むため、札幌市における新たな目標と、市民・事業者・札幌市が一体となった取組の方向性を示した「札幌市温暖化対策推進ビジョン」を2011年3月に策定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

札幌市における温室効果ガス削減目標について

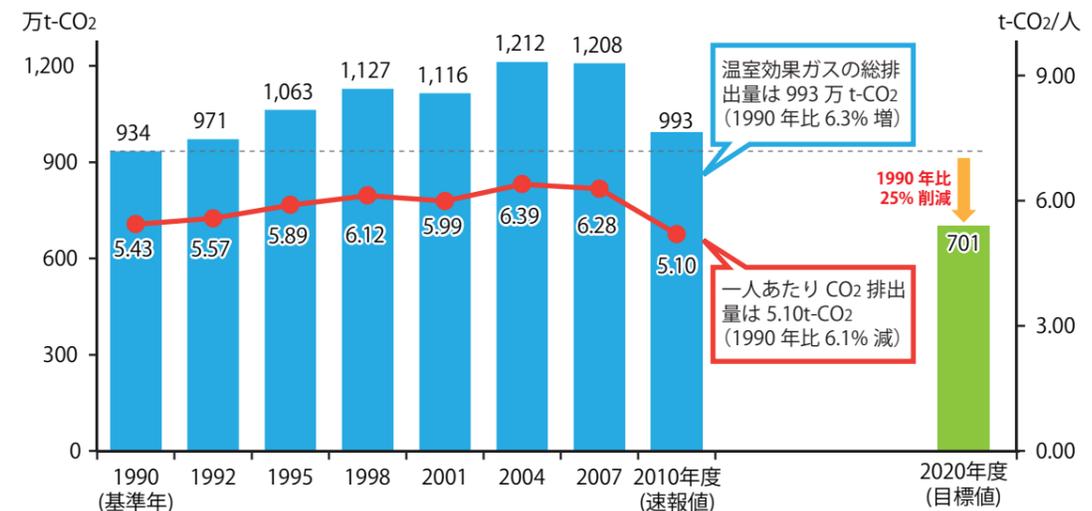
「札幌市温暖化対策推進ビジョン」では、科学的知見や国の目標、さらには国際的な動向も鑑み、できるだけ早急に温室効果ガスの人為的排出量と自然吸収量とのバランスを取るため、以下のとおり温室効果ガス排出量の削減を目指しています。

中期目標 2020年度に温室効果ガス排出量を **25%削減** (1990年度比)

長期目標 2050年度に温室効果ガス排出量を **80%削減** (1990年度比)

札幌市における温室効果ガス排出量について

札幌市における2010年度の温室効果ガス排出量(速報値)は、993万t-CO₂と、基準年である1990年度の934万t-CO₂から6.3%増加していたものの、ビジョン策定時に公表していた2007年度の1,208万t-CO₂からは17.8%の削減となりました。



■環境首都・札幌
2008年6月、市民一人ひとりがこれまで以上に地球環境保全に取り組んでいく決意をし、世界に誇れる環境都市を目指して「環境首都・札幌」を宣言しました。



■温室効果ガス
CO₂やメタン、一酸化二窒素など、温室効果をもたらす気体の総称。札幌市で排出される温室効果ガスの99%はCO₂です。

■速報値について
これまで札幌市で毎年公表していた温室効果ガス排出量は、様々な統計資料を基に計算していましたが、必要な統計資料の公表を待つ必要があったため、その算出が遅くなっていました。そこで、一部のデータを前年度の値で代替するなど、推計を行うことで、より最新の値を算出しました。

※速報値で算出した値は、今後変更がある場合があります。※2010年度速報値は森林吸収や国の排出量取引などを見込んだ値です。

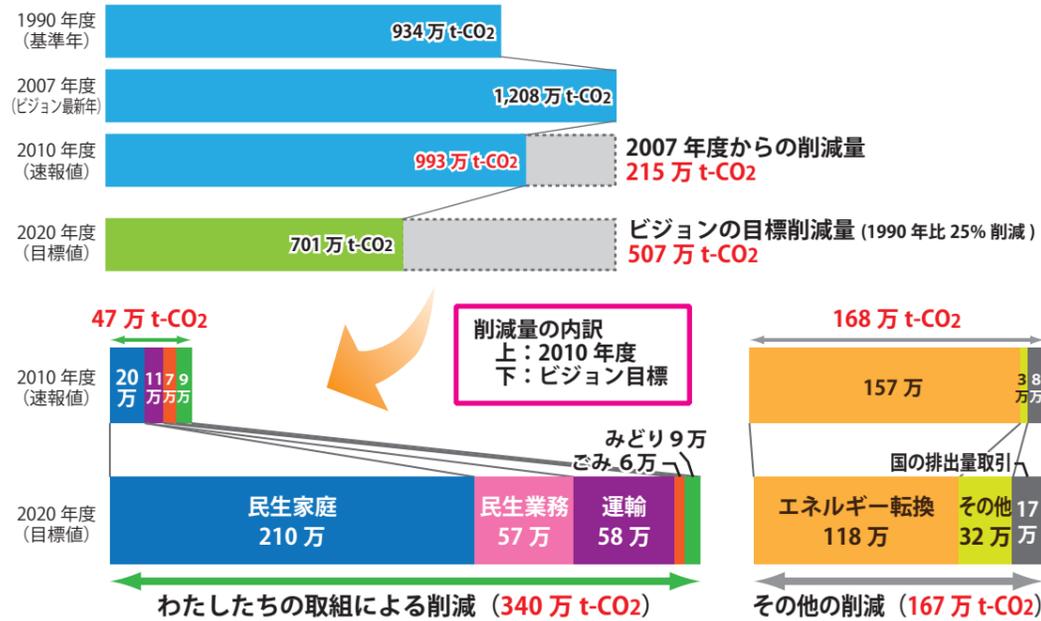
温室効果ガス削減量の内訳と部門別の分析

札幌市における 2010 年度の温室効果ガス排出量は 993 万 t-CO₂ となり、2007 年度から 215 万 t-CO₂ の削減となりました。

「札幌市温暖化対策推進ビジョン」では、2020 年度までに 2007 年度から 507 万 t-CO₂ の削減を目指していますが、その内訳として、わたしたちの取組（市民・事業者・札幌市による取組）による削減で 340 万 t-CO₂、原子力発電所の稼働によるエネルギー転換など、その他の削減で 167 万 t-CO₂ を見込んでいます。

2010 年度は、わたしたちの取組によって、2020 年度に目指す 340 万 t-CO₂ のうち、約 14% にあたる 47 万 t-CO₂ の温室効果ガスを削減できました。

また、右のページでは 2007 年度から 2010 年度までの CO₂ 削減量を部門別に分析した結果と、ビジョンの取組による CO₂ 削減量を示しています。



■排出量の部門

CO₂ の排出量については、「どこから排出されるか」によって部門ごとに分類されます。

左図の「民生家庭」などの分類は、以下のような区分となります。

【民生家庭】
自動車を除く、家庭（電力や灯油など）から排出される CO₂

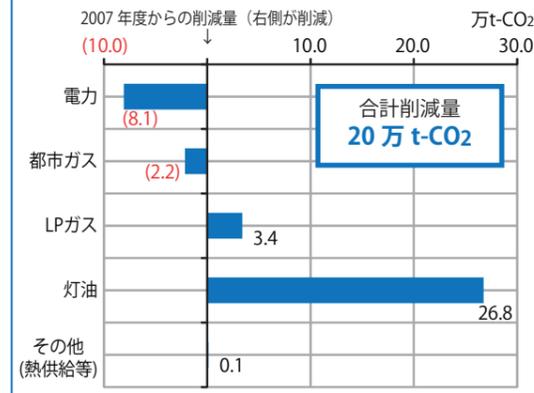
【民生業務】
自動車を除く、オフィスや店舗から排出される CO₂

【運輸】
家庭用・業務用を含む自動車や、鉄道、飛行機から排出される CO₂

【ごみ（廃棄物）】
ごみを焼却する際や、下水処理などによって排出される CO₂

【みどり（森林吸収）】
森林の光合成によって吸収される CO₂

民生家庭部門



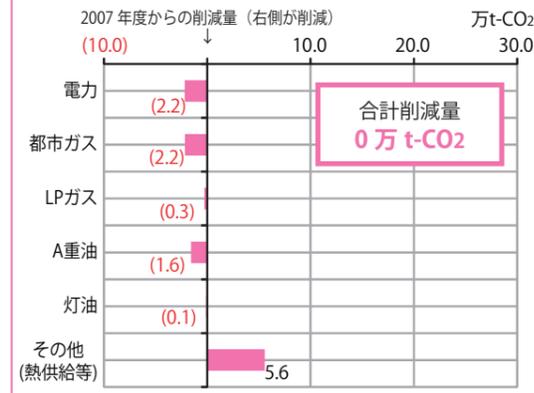
部門別に 2007 年度からの CO₂ 削減量を分析すると、民生家庭部門においては、特に灯油消費量が大幅に減少していました。要因としては、高効率給湯・暖房機器の普及や、これまでの普及啓発や環境教育の効果のほか、燃料代の高騰など社会情勢によるものが考えられます。

◆札幌市温暖化対策推進ビジョンの取組による削減量（推計値）

北国基準の省エネルギー住宅の普及 | 3.1 万 t-CO₂
高効率給湯・暖房機器の普及 | 5.8 万 t-CO₂
エコライフの定着・拡大 | 10.9 万 t-CO₂
太陽光発電設備の普及 | 0.2 万 t-CO₂

合計削減量 20 万 t-CO₂

民生業務部門



民生業務部門においては、熱供給事業による削減があるものの、オフィスや店舗等の増加に伴う電力等の消費量の増加により、削減量は 0 となり、さらなるエネルギー消費量の削減を図る必要があります。

なお、2009 年に改正された札幌市生活環境確保条例により、多くの事業者が環境保全行動計画書の提出を義務付けられ、省エネに取り組み始めているところです。

◆札幌市温暖化対策推進ビジョンの取組による削減量（推計値）

事業活動による CO₂ 削減 | ▲1.7 万 t-CO₂
木質バイオ燃料の普及 | 1.4 万 t-CO₂
再生可能エネルギー等 | 0.3 万 t-CO₂

合計削減量 0 万 t-CO₂

運輸部門



運輸部門では、自動車・鉄道・航空全ての分野でエネルギー消費量が削減されています。特に自動車については、次世代自動車や低燃費車、コンパクトカーなどの普及のほか、市内の自動車台数の減少や、エコドライブの普及等により、CO₂ 排出量の削減が図られています。

今後は、さらなる次世代自動車の普及やエコドライブの推進、自動車から公共交通機関への転換に取り組むことが重要となります。

◆札幌市温暖化対策推進ビジョンの取組による削減量（推計値）

次世代自動車や公共交通機関の利用 | 11 万 t-CO₂

合計削減量 11 万 t-CO₂

廃棄物部門



廃棄物部門においては、廃棄物処理に使用する燃料消費量が微増しているものの、2009 年に実施した家庭ごみ排出ルールの変更により、焼却ごみが大幅に減量したことによって、CO₂ 排出量が減少しました。今後は CO₂ 削減に向け、引き続きごみ減量とリサイクルの推進を図っていきます。

◆札幌市温暖化対策推進ビジョンの取組による削減量（推計値）

ごみ減量・リサイクルの定着・拡大 | 7 万 t-CO₂

合計削減量 7 万 t-CO₂

温室効果ガスの大きさ（体積）について

CO₂ をはじめとした温室効果ガスは目には見えないため、わたしたちの生活からどのくらいの量が出ているのか、イメージすることは難しいかもしれません。

はたして CO₂ はどのくらいの大きさ（体積）で、札幌市からはどのくらい排出されているのでしょうか？

■1kg の CO₂ の大きさは？

1kg の CO₂ は、体積にすると約 0.509m³（約 509L）になります。

これは、ドラム缶（200L）で約 2.5 本分、1つの球にすると直径約 1m の球と同じ大きさです。

この 1kg の CO₂ は、「見ていないテレビ（26 型）を 1 日 1 時間消す取組を 1 か月間続けること」や「約 3 分強のアイドリングストップを 10 回行うこと」などで削減することができます。

■2007 年度に札幌市から排出された温室効果ガス（CO₂）の大きさは？

2007 年度に札幌市から排出された 1,208 万 t-CO₂ の体積は約 61 億 5000 万 m³ になります。

これを雪の量に例えると、ちょうど札幌市全域に高さ約 5.5m の雪が積もった状態と同じ体積になります。札幌市の降雪量の平年値がおよそ 6m なので、札幌市に降る 1 年分の雪の量とほぼ同じくらいと考えられます。

ちなみに、札幌市が目指す 2020 年度に 1990 年度比で 25% 削減、つまり温室効果ガス排出量を 701 万 t-CO₂ にするためには、この 5.5m に積もった雪を約 3.2m まで減らさなくてはならない計算になります。

このように、温室効果ガスの削減はとても大きな目標ですが、市民一人ひとりの力で達成を目指していきましょう。